

修中だより 1月号

令和7年1月7日
京都市立修学院中学校
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=203005>
Eメールアドレス syugakuin-c@edu.city.kyoto.jp

2025年(令和7年)を迎えて 新年あけましてあめでとうございます



旧年中は本校教育活動の推進にご理解・ご支援をいただき、誠にありがとうございました。新しい年を迎え、保護者の皆様方、地域の皆様方におかれましては、ご家族とともに健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。教職員一同、気持ちを新たに子どもたちに寄り添いながら、教育活動の推進に取り組みでまいりたいと思っておりますので、昨年同様にご協力・ご支援をよろしくお願ひいたします。

さて、昔から「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われるよう、あっという間に過ぎ去っていく3学期がスタートしました。冬休みを有意義に過ごしたでしょうか? 2学期終業式では、「節目」があることで、時間の移り変わりを意識することができ、「節目」ごとに、これまでの成果や課題を振り返ることで、次の目標を立て、新たな行動に移すことが大切ですとの話をしました。学校生活においては、新しくスタートする場面や区切り、「節目」がたくさんあります。一番の大きな節目は進級や進学を迎える4月ですが、その他にも1学期や2学期、学校行事への取り組み、細かく言えば1時間1時間の授業も「節目」になります。「節目」には不思議な力があり、知らず知らずのうちに気持ちをリセットさせてくれます。そして、これから始まることに対して、新たな目標を立てたり、意欲を高めたりすることができます。昔から、「一年の計は元旦にあり」とよく使われることわざがあります。1年のスタート、3学期の始まりという「節目」に、自分の新しい目標や計画をしっかりと立てましょう。目標を立てるだけでは意味がないので、日々の小さな行動の積み重ねが、目標達成につながっているということを忘れず、目標達成のための具体策を設定し、地道に一歩ずつ実行していくってほしいものです。「日々研鑽」「継続は力なり」という言葉があるように、自分で決めた目標を持ち、努力を続けることは大きな成長につながると思います。3学期は、1年間のまとめや4月からの進級・進学に向けての大切な準備期間です。次のステージに向けて希望や目標を持ち、4月からの自分の姿を思い浮かべながら、3学期を大切に過ごしましょう。

3年生にとっては、この3学期は一年間の締めくくりであると同時に、中学校生活3年間、そして義務教育9年間を締めくくる最後の学期です。それぞれの進路に向けて、最後の頑張り時でもあり、努力してきたことに自信を持って、自分の進路希望を達成してほしいと思います。また、残り少ない修学院中学校での学校生活を、仲間や先生方とともに、自分たちが最高学年として、学校のリーダーとして取り組んできたことに誇りと自信を持ち、想い出に残る日々となるような時間を過ごし、卒業式を迎えましょう。

1・2年生は、来年度を見据えて、この3学期を「令和7年度のO学期」として、4月からの新たな学年の準備として、行動面や気持ちの面で準備をしましょう。2年生は、4月から最上級生となり、1・2年生の良き模範となり、全校のリーダーとして自覚を持って、学習や生活面、生徒会活動や部活動などにしっかりと取り組み、修学院中学校の伝統を引き継いでほしいと思います。1年生は、新1年生の先輩として、見本となるような学校生活を送り、3年生を支える中堅学年としての心構えと準備をしていく3学期にしてほしいと思います。全校生徒が残りの3学期の学校生活を充実して楽しく過ごすことを期待しています。

最後に、令和7年(2025年)は、「巳年(へびどし・みどし)」です。十二支の順では6番目です。様々な解釈がありますが、「へび」は古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっており、こうした意味から、「巳年」は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とされています。すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要で、自分のペースを保ちながら着実に前進することで、最終的には自分が目指す結果に近づくように頑張りましょう。これからの皆さんの努力が実を結び、さらなる成長へとつながる年となることを願っています。



12月のおもなできごと

【2年生「人権講演会」…12月2日(月)】

NPO法人コリアンユースネットワークス京都の講師方々を招いての講演会を実施しました。「民族の遊び」・「言語交流」・「歴史講演」を5クラスが順番に学びました。遊びの体験や韓国語での自己紹介、歴史を学び、学習を終えての感想では、違いを認め合う事の大切さや全ての人が過ごしやすくなるように考えていきたいなど、多くの生徒が大変有意義な時間を過ごすことができました。



【1年生「ようこそアーティスト（国語）」…12月4日(水)】

国語科の授業として短歌の先生に来ていただき、学年全員で体育館での授業を実施しました。この事業は「ようこそアーティスト」というもので、一流の芸術家を各校に派遣してもらい、文化芸術の体験を行うものです。授業の中で学んで創作した短歌を、プロの先生にみていただき、より良い表現の仕方をアドバイスしていただきました。互いの短歌をほめあったり感心する姿がみられました。



【3年生「人権講演（最期のひとこと）」…12月5日(木)】

古森義和先生を講師としてお招きし、人権講演「ひとり芝居」を鑑賞しました。これまでの人権学習のまとめとして、お互いが尊敬しあうことの大切さやこれからの中での社会の中で、どのような生き方をしていくかを考える大切な時間となりました。正しい知識と感覚を身につけることで、差別的言動に流されず、それらに立ち向かえるような人になってほしいと思います。



【1年生「探究フィールドワーク」…12月6日(金)】

総合的な学習の時間で、「観光」「伝統文化」「まちづくり、コミュニティ」の3つの視点から課題を発見し、情報収集と整理・分析するために、班別で京都市内フィールドワークをおこないました。各班が現地調査やインタビューを通じて地域の課題を解決するために何ができるのかを考えたり、地域の魅力を伝える方法や手段を考えたりするきっかけになった充実した探究の時間となりました。



【1年生「人権講演会」…12月12日(木)】

京都府視覚障害者協会より、竹下八千代さんを招いて講演を聞かせていただきました。ガイドヘルパーさんとサポートの方にもお世話になり、見えない世界での食事や買い物などの話を聞いたり、視覚障害のある方を誘導する（手引き）方法を小グループに分かれて体験をしました。見えない世界の不安さや誘導することの難しさを実感しました。また、自分の名前を点字で打つ体験などもおこないました。



【伝達表彰・2学期終業式・生徒集会…12月24日(火)】

終業式前には、国語科・社会科・美術科・美術部・女子ソフトテニス部・陸上部の伝達表彰をおこないました。その後、終業式では校長先生から2学期のまとめや冬休みに向けての話があり、続いて、生徒会執行部による生徒集会がおこなわれ、2学期を締めくくりました。



【1月のおもな学校行事】

※学校預り金振替日は、1月10日（金）です。

- ・1月 7日（火）…3学期始業式・生徒集会・冬休み明けテスト〔英語〕（1、2年）
- ・1月 9日（木）…避難訓練〔5限〕
- ・1月14日（火）～17日（金）…公開授業週間〔全学年〕
- ・1月15日（水）…PTA講演会〔13:30～第1多目的室〕
- ・1月22日（月）…1年生科学センター学習〔午後〕
- ・1月22日（水）〔午後〕～24日（金）…3年生第5回定期テスト
- ・1月23日（木）…学習確認プログラム〔1・2年〕
- ・1月29日（水）…校区4小学校との小中交流会〔14:00～15:25〕
- ・1月31日（金）…漢字能力検定〔15:45～〕

